

毎月1日はノーメディアデー！

養護教諭 本江 寿恵

今年度、五位地区の小中学校で毎月1日にノーメディアデーを実施しています。児童や保護者の感想から「勉強に集中できた」「早寝できた」「家族の会話が増えた」などの効果がみられています。

児童の感想

いつもより勉強に集中できた。

テレビがないとたくさん本を読めた。

リビングのテレビをつけないととても静かで心も落ち着くし、家族ともいっぱい話せてよかったです。

すっきりねれた。

ゲームができない分、自主学习をいっぱいしました。

保護者の感想

テレビを消してごはんを食べるのが久しぶりでした。とても新鮮でした。会話がはずんで楽しい時間でした。

久しぶりに親子でトランプしたり、剣玉したりして楽しみました。テレビやゲームでは発生しない、親子の笑い声が家の中にこだましました。

ノーメディアデーに対する意識は高まっており、先日校内で募集した健康づくり標語でもノーメディアに関する作品が多くありました。ノーメディアの目的は睡眠や勉強時間の確保などにありますが、子供たちの標語を見ていると、家族との会話や一緒に過ごす時間が増えることにもつながるのだと感じました。

- ・ テレビ見ず 家族で会話 もり上がる (2年)
- ・ ノーメディアデー 読書や自学で 身につくラッキー (3年)
- ・ ノーメディアデー テレビやゲームは 決めた時間だけ (4年)
- ・ ノーメディア 家族と団らん いい気分 (5年)
- ・ テレビ消し 時には家族で 団らんタイム (6年)

ノーメディアデーの実施には、家族の協力が不可欠です。子供の心身の健康のため、そして家族の触れ合いのためにも、月に一度はメディアから離れ、心静かに過ごしてみてはいかがでしょうか。

『チャレンジ2年生』

2年担任 笹島 百合子

2年生はあいさつ上手な子供たちです。あいさつポイント「大きな声で元気よく」「相手の顔を見て」「お辞儀をして」を心がけ、そして、気持ちが伝わるようなあいさつをしようと、毎朝元気に登校しています。

3月までは学校で一番下の学年として、お世話をしてもらったり、教えてもらったりしていたことが多かった子供たちですが、4月からは、新1年生のお兄さん、お姉さんとしての意識も少しずつ高まってきました。

生活科の「学校探検」、ファミリーパークでの校外学習では、1、2年生でグループを作り一緒に活動しました。疲れて歩くのが遅くなる1年生の手を引いている2年生に頼もしさを感じました。また、校歌を一緒に歌って練習したり、学習したことを発表したりする活動では、楽しく覚えてもらおう、分かりやすい発表にしようと張り切る子供たちには、今までにはない意欲も見られるようになってきました。

「ぼく、～できたよ。」「わたし、～したんだよ。」と自分のことを聞いてほしかった子供たちですが、自分だけの世界から、周りに目が向くようになってきています。そして、友達のよいところや得意なところに気付き、互いのよさを認め合えるようになってきました。これからも、いろいろな経験を通して、心も体もたくましく成長していってくれることと思います。



